

有限会社北陽商事

サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025年11月28日

株式会社北洋銀行
釧路中央支店

1. 基本情報

企業名	有限会社 北陽商事	
代表者名	様田 欣也	
所在地	本社 釧路市南浜町5番4号	
資本金	1,500 万円	
従業員	18名(2025年11月現在)	
業種	不動産業	
事業内容	<ul style="list-style-type: none">ピタットハウス釧路店 運営不動産賃貸仲介、管理業、売買仲介、買取	
沿革	1970年 2017年 2018年 2024年	不動産業として設立 様田欣也氏が代表取締役に就任 ピタットハウスのフランチャイズ店に加盟 本社を現在地に移転

2. 経営理念

経営理念

行

行動力があるからこそ お客様から信頼・信用される。
社員一人ひとりの自主性や行動力を尊重し、活発な議論のできる会社にする。

高

社員全員が、仕事に高いプライドを持ち 業務にかかわる常識・認識・知識をしっかりと身に着け信頼される『質の高い仕事』をする。

幸

私たちは不動産を通じ『幸せのきっかけを創り』『みんなを幸せにする』
そして『みんなで幸せになれる会社』にする。

有限会社北陽商事(以下、「北陽商事」または「当社」)は、1970年の創業以来、釧路に住まうお客様の不動産に関する多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を続けている。従業員の育成と満足度の向上にも注力しており、社員を含めた釧路市民に寄り添うような経営を重要視している。

3. 事業概要

北陽商事は釧路市に拠点を置く不動産業者である。ピタットハウスのフランチャイズ店に加盟しており、不動産仲介業だけでなく、中古不動産の取得・売買も手掛けている。1970 年の創業以来、釧路市で信頼と実績を積み重ねてきたことで、釧路地区では「地域密着型の不動産業者」として高い認知度を有している。

釧路市は根釧地区の中核都市であり、管庁、支店機能、病院、学校等が集中。そのため単身赴任者が多く、賃貸アパートのマーケットは大きいものの、若者の流出による人口減少や、空き家の増加といった地域課題が深刻化している。また、物価高騰により新築住宅の価格も上がり、新築に手が出せない状況が常態化しつつある。

当社は上記の地域課題に対し、「リフォーム」という解決策を提供している。不動産の購入・リフォーム・売却までの一連を自社で手掛けることで、新築に近い状態での物件の提供を可能にし、戸建て購入のハードルを下げている。また、空き家のリフォームは釧路市内の景観維持にもつながるほか、空き家の処分方法に悩まれる持ち主のニーズにも合致しており、釧路市とそこに住む人々の双方に向けたソリューションの提供を行っている。

当社は持続可能な社会の実現に向けて、SDGs の取り組みにも関心を向けています。当社の取り組みの一つである中古物件の買取・リフォーム・販売の一連は、リユース・リサイクルの観点から循環型社会との親和性が高い。また、当社は従業員の成長・満足度の向上を重要視しており、資産形成セミナーを実施して従業員の金融リテラシー向上と資産形成を促すなどの福利厚生にも力を注いでいる。

また、地震の発生確率が高いと予想される道東地区において、ニーズが高まっている高台の物件のリフォーム・売却を優先するなど、震災への感度も高い。

■ 本社屋



■ 社内応接室・待合室



出所：有限会社北陽商事 提供資料

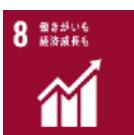
4. サステナビリティ目標

北陽商事の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、北陽商事の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、有限会社北陽商事のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献	
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。	
関連する SDGs		

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進	
目 標 ・ K P I	① 役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。 ② 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。	
関連する SDGs		

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。